

[2019.02.14]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

2018年12月期 通期決算説明資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績はモバイルクリエイト株式会社の連結実績で集計しております



2018年12月期 決算概要



業績ハイライト

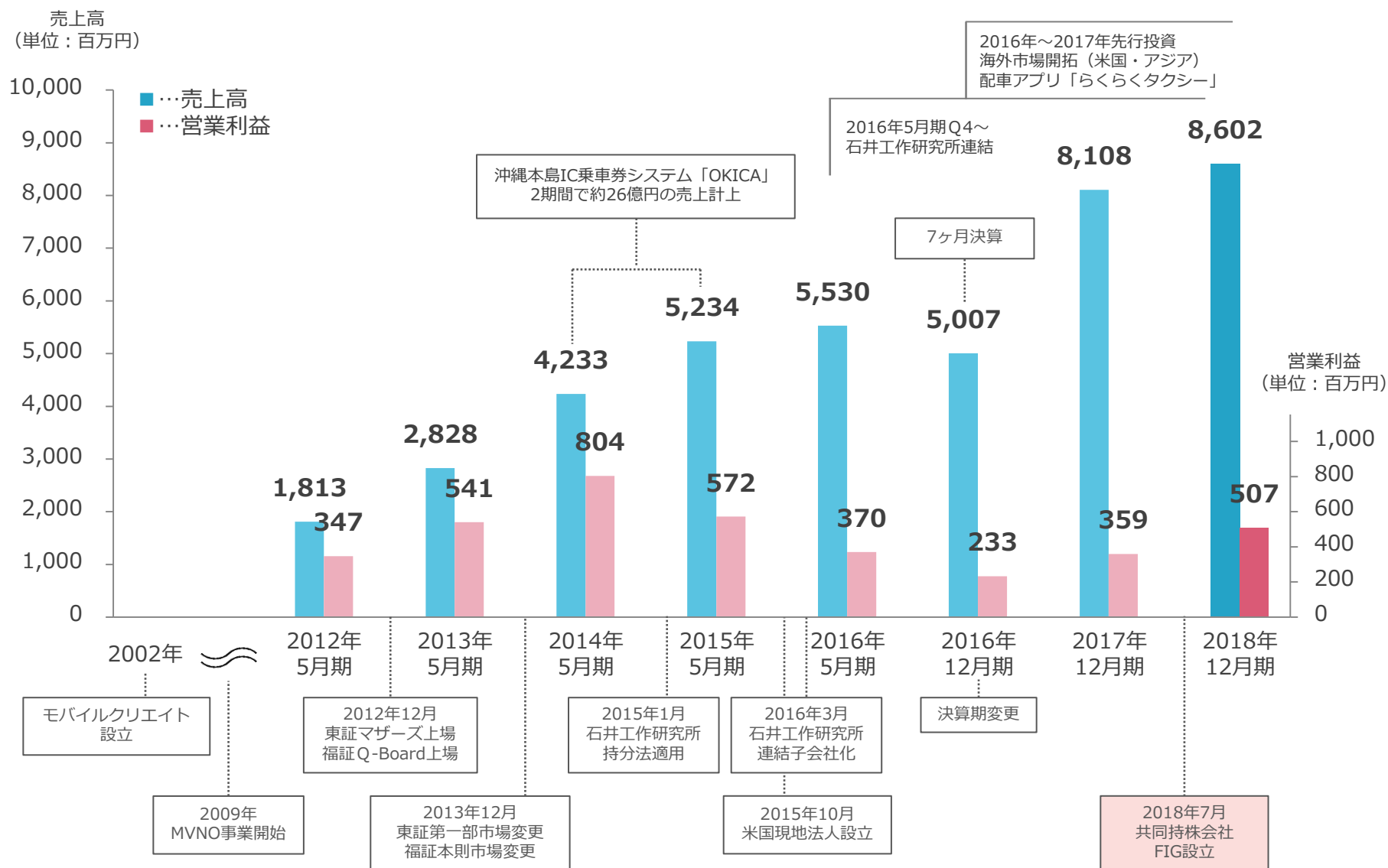
単位：百万円

	2017年12月期 実績	2018年12月期 計画	2018年12月期 実績	前期比	計画比
売上高	8,108	8,600	8,602	+6.1%	+0.0%
営業利益	359	450	507	+41.4%	+12.8%
経常利益	412	458	554	+34.3%	+21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	186	265	273	+46.6%	+3.1%
1株当たり当期純利益	8.05円	9.77円	10.69円	—	—

POINT

- 2018年7月に持株会社制に移行
- 情報通信事業の一時的な要因による収益減を装置等関連事業の一時的な要因による収益増がカバー
- 情報通信事業：データセンター移設や主力商品の次期モデル開発、新規事業の開始に注力
- 装置等関連事業：自動車設備関連装置の売上拡大とともに、リピートや納期優先等の案件が重なる等、利益に一時的なプラス要因発生

売上高と営業利益の推移（連結業績）



セグメント別売上高と営業利益

単位：百万円／下段は構成比

		2017年12月期	2018年12月期	前期比
売上高		8,108 (100.0%)	8,602 (100.0%)	+6.1%
	情報通信事業	4,331 (53.4%)	4,272 (49.7%)	△1.4%
	装置等関連事業	3,776 (46.6%)	4,329 (50.3%)	+14.6%

単位：百万円／下段は構成比

		2017年12月期	2018年12月期	前期比
営業利益		359 (100.0%)	507 (100.0%)	+41.4%
	情報通信事業	224 (62.6%)	76 (15.1%)	△65.9%
	装置等関連事業	138 (38.7%)	511 (100.8%)	+268.8%
	調整額	△4 (△1.3%)	△80 (△15.9%)	—

貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

		2017年12月期末	2018年12月期末	増減額	主な増減
流動資産		6,512 (57.0%)	7,371 (61.7%)	+859	受取手形及び売掛金 +151 たな卸資産 +584
	固定資産	4,907 (43.0%)	4,567 (38.3%)	△340	投資有価証券 △168 退職給付に係る資産 △140
資産合計		11,419 (100.0%)	11,938 (100.0%)	+518	
流動負債		2,628 (23.0%)	2,685 (22.5%)	+57	
	固定負債	1,088 (9.5%)	1,491 (12.5%)	+403	長期借入金 +484
負債合計		3,716 (32.5%)	4,177 (35.0%)	+460	
純資産		7,703 (67.5%)	7,761 (65.0%)	+58	
負債・純資産合計		11,419 (100.0%)	11,938 (100.0%)	+518	

2019年12月期 計画と取り組み



2019年12月期 通期計画

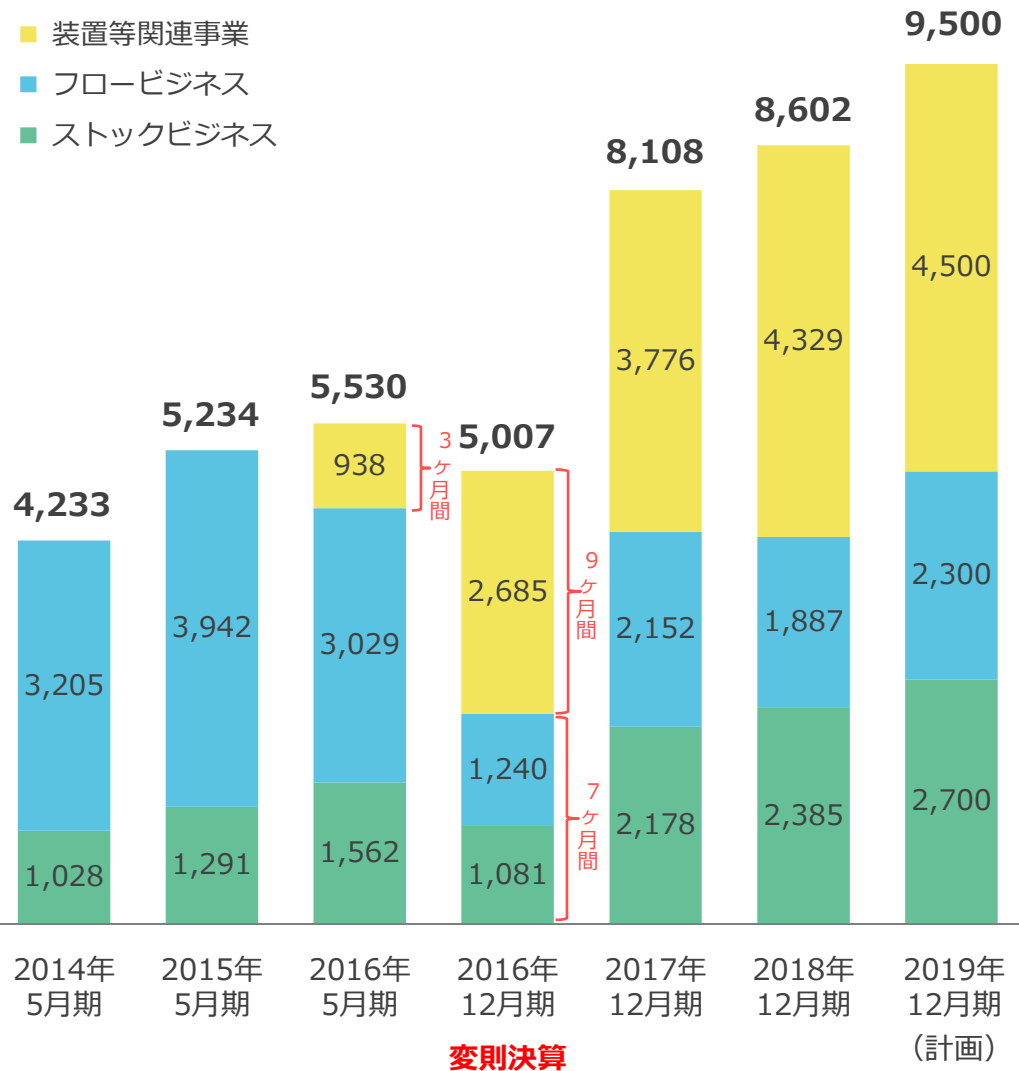
単位：百万円／下段は売上比

	2018年12月期実績		2019年12月期計画			
	2Q累計	通期	2Q累計		通期	
				前年同期比		前期比
売上高	4,127 (100.0%)	8,602 (100.0%)	4,500 (100.0%)	+ 9.0%	9,500 (100.0%)	+ 10.4%
売上総利益	1,180 (28.6%)	2,575 (29.9%)	1,320 (29.3%)	+ 11.8%	2,743 (28.9%)	+ 6.5%
営業利益	189 (4.6%)	507 (5.9%)	200 (4.4%)	+ 5.6%	570 (6.0%)	+ 12.3%
経常利益	234 (5.7%)	554 (6.4%)	203 (4.5%)	△ 13.4%	573 (6.0%)	+ 3.4%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	56 (1.4%)	273 (3.2%)	120 (2.7%)	+112.6%	320 (3.4%)	+ 17.1%
配当金（予想）	0円	5円	0円		5円	

セグメント別売上高計画

単位：百万円

- 装置等関連事業
- フロービジネス
- スtockビジネス



情報通信事業

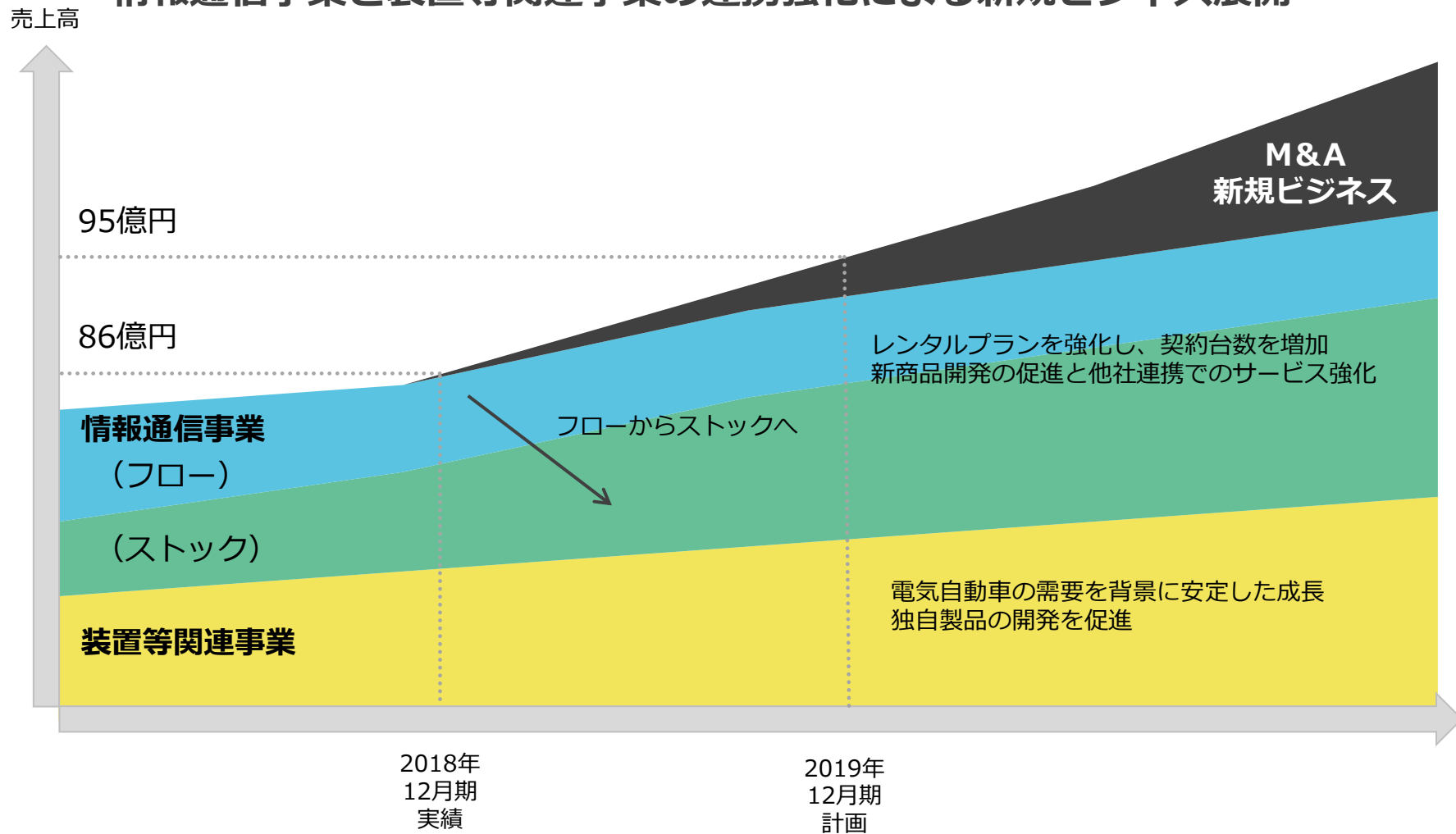
- フロービジネス 2,300百万円（前期比+21.9%）
 - ・バス関係事業が好調に推移
 - ・ロボット新規事業の売上を計上予定
- スtockビジネス 2,700百万円（前期比+13.2%）
 - ・タクシーレンタルプランによりストックが伸長

装置等関連事業

- 装置等関連事業 4,500百万円（前期比+3.9%）
 - ・自動車設備関連装置を中心に微増

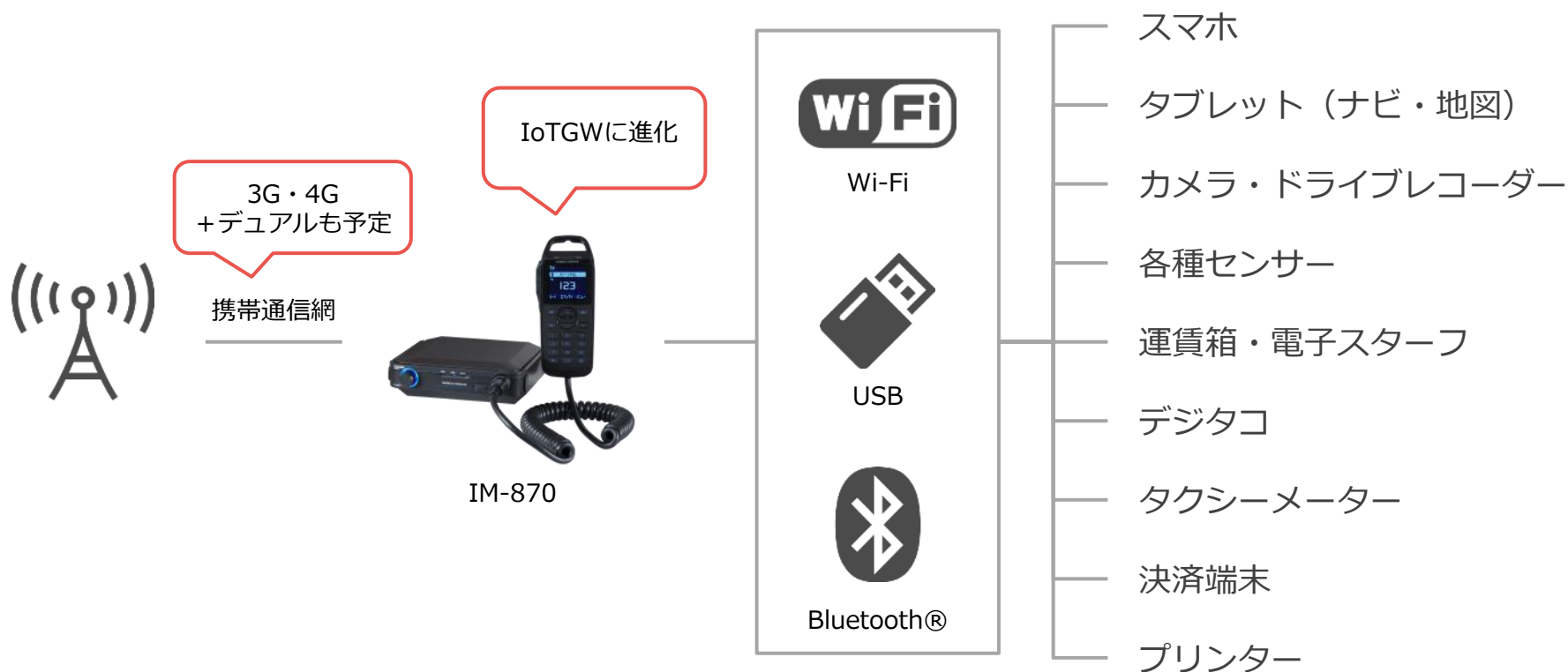
今後の成長イメージ

IoT分野での成長を加速、AI・ビッグデータを活用したサービス強化
情報通信事業と装置等関連事業の連携強化による新規ビジネス展開



主力商品業務用IP無線システムの進化

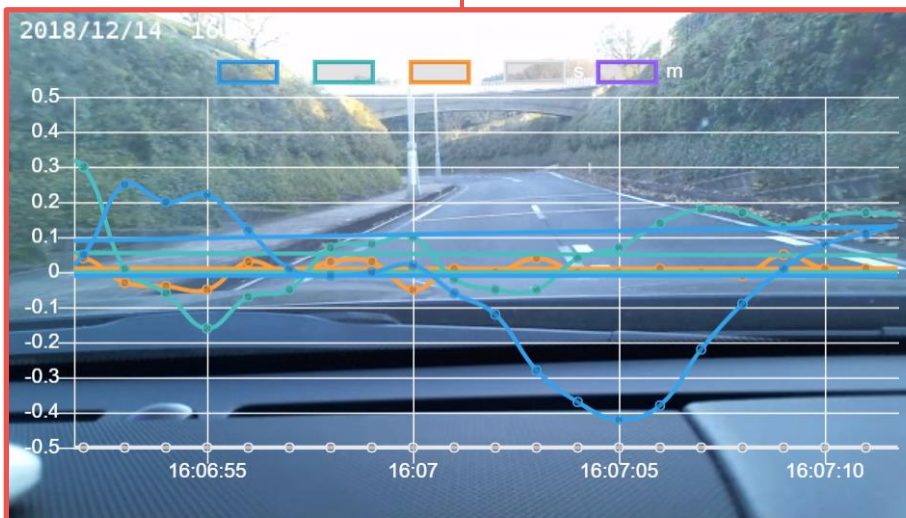
- いろんなデバイスをクラウドに繋げる、IoTGW（IoTゲートウェイ）として進化
- ハードウェアのスペックが大幅に向上（既存アプリケーションや動画等搭載してもスペックに余裕あり）
- デッドレコニング（自律航法）の機能を搭載することでGPS単独では測位が困難な環境下でも高精度な位置情報の取得が可能



業務用IP無線システムのサービス拡大

車載カメラの映像および
急ハンドル・急発進・急ブレーキを測位するインジケータ

地図（位置情報）



[RecoedList_ 15 / 20] [101-0-181214160639.mp4]

2018/12/14 16:02:37 -- 16:03:38 -- 61s	180828/r0180828132808	101
2018/12/14 16:03:38 -- 16:04:38 -- 60s	181214/101-0-181214155028	102
2018/12/14 16:04:38 -- 16:05:38 -- 60s	181231/101-0-181231065419	103
2018/12/14 16:05:38 -- 16:06:39 -- 61s	181231/101-0-181231070022	
2018/12/14 16:06:39 -- 16:07:39 -- 60s	181231/101-0-181231070042	
2018/12/14 16:07:39 -- 16:08:39 -- 60s	181231/101-0-181231081921	
2018/12/14 16:08:40 -- 16:09:40 -- 60s	181231/101-0-181231103123	
2018/12/14 16:11:41 -- 16:12:41 -- 60s	190205/101-0-190205162838	
2018/12/14 16:12:41 -- 16:13:41 -- 60s	190205/101-0-190205165633	
2018/12/14 16:13:41 -- 16:14:42 -- 61s		

I D: 101
緯度: 33.223577 経度: 131.600592
速度: 48.99 km/h 方位: 166.82°
海拔: 63.90 m
ジャイロ x:y:z: 187.98° : 241.84° : 166.82°
加速度 Ave x:y:z: Max x:y:z: 0.15 : 0.14 : 0.98 : 0.30 : 0.20 : 1.05
急発進: 5 : 急ブレーキ: 2 : 急ハンドル: 7
ふらつき: 0
GPS: 2018/12/14 16:07:13 / nw
住所: undefined

34
files
Camera
gyro

走行記録

緯度・経度・速度・方位などのインジケータ

主力商品業務用IP無線システムの新市場開拓

アプリ「iMESH」



- IP無線で培ったノウハウをスマホアプリで実現
 - ー 3G・4G・Wi-Fi対応
 - ー 1対1、1対複数間の同時音声通話
 - ー グループリングを任意に設定（チーム内での情報共有）
 - ー 音声録音（送受信した音声データをアプリ内に保持、聞き逃しを防止）
 - ー テキストメッセージの送受信（通話が難しい環境可でも連絡可能）
 - ー 写真・動画の送受信（スマホで撮影した画像や動画を送受信可能）

専用端末「IM-550」



- iMESHアプリの機能（多彩な通話・音声録音・テキストメッセージの送受信・写真・動画の送受信）はそのままに、ボイスパケットトランシーバーとの相互通話や動態管理システム「モバロケ」との連携が可能
- 防塵・防水機能IP68
- 全国で11万局を超えるIP無線導入実績
- 災害発生時の安否確認にも役立ちます

ラインナップ強化で全ての市場をカバー

トラック

タクシー

バス

BCP・防災

警備

イベント

ホテル

空港

工場

病院

建設

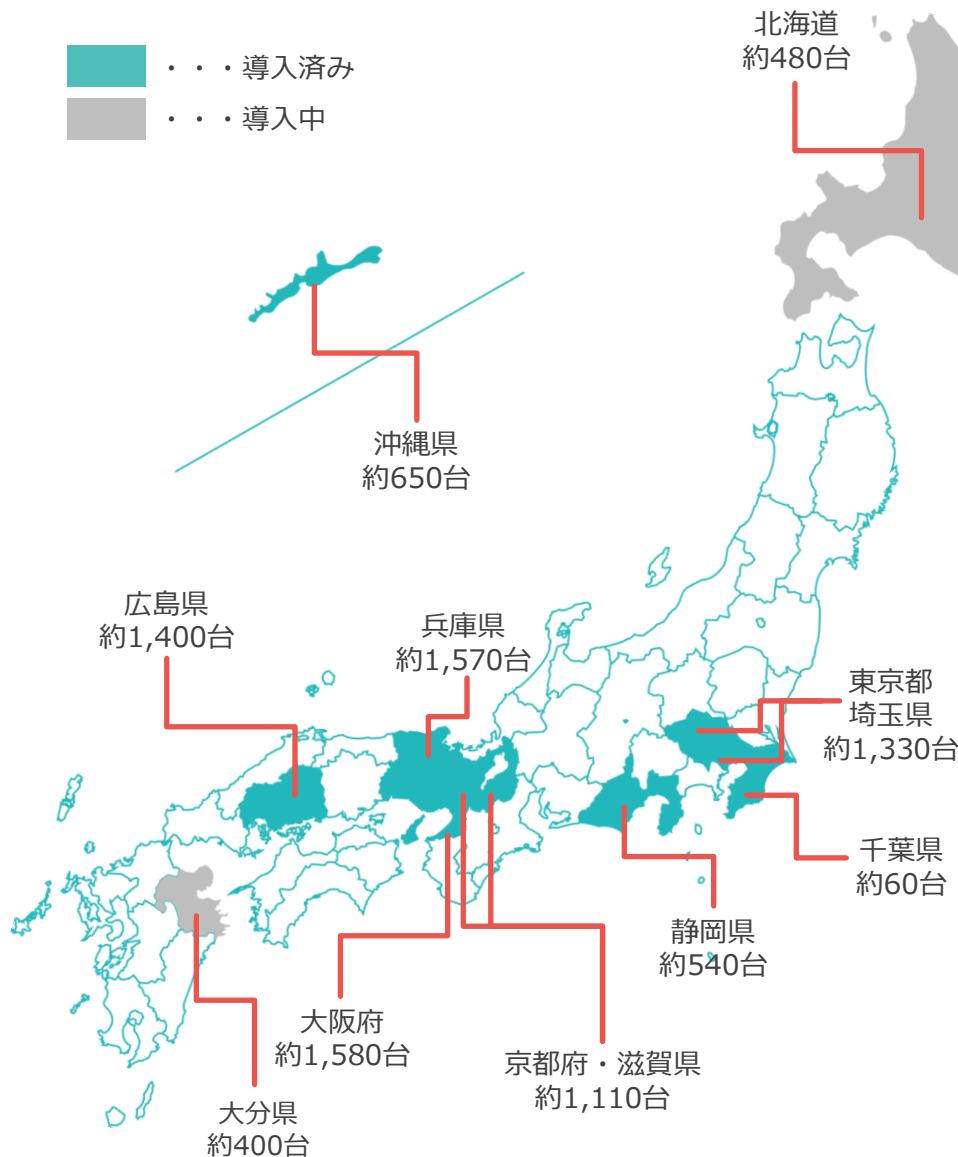
etc.

車載市場

非車載市場を開拓

バスロケーションシステムの拡販

- 導入済み
- 導入中



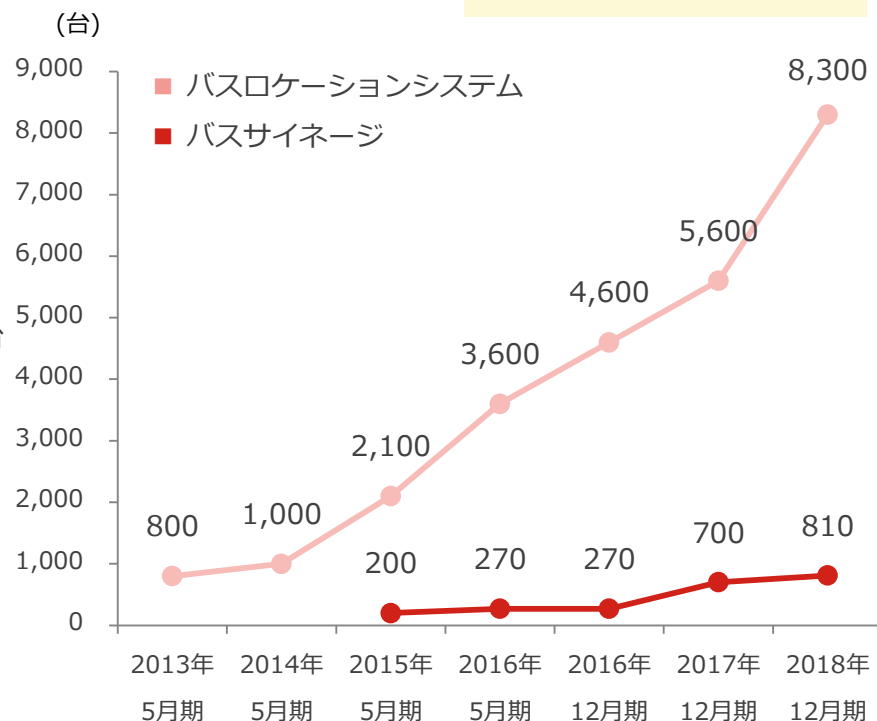
バスロケーションシステム累計導入台数

約 **8,300** 台

※関東はモバロケ運用含む

導入中 ※2019年2月現在

約 **880** 台



バス向け商材の拡大

- 商業系電子マネー「WAON」を用いた多区間運賃決済システムを開発。2019年2月4日より、くしろバス、阿寒バス、十勝バスで順次試験運用開始
- **商業系電子マネーでの多区間運賃決済は全国初の事例**

※多区間運賃とはバスの路線を区間ごとに区切って、区間をまたぐごとに加算される、多くの路線バスで採用されている運賃制度です

WAON決済端末



多区間運賃路線のWAON決済サービス

デジタルサイネージ



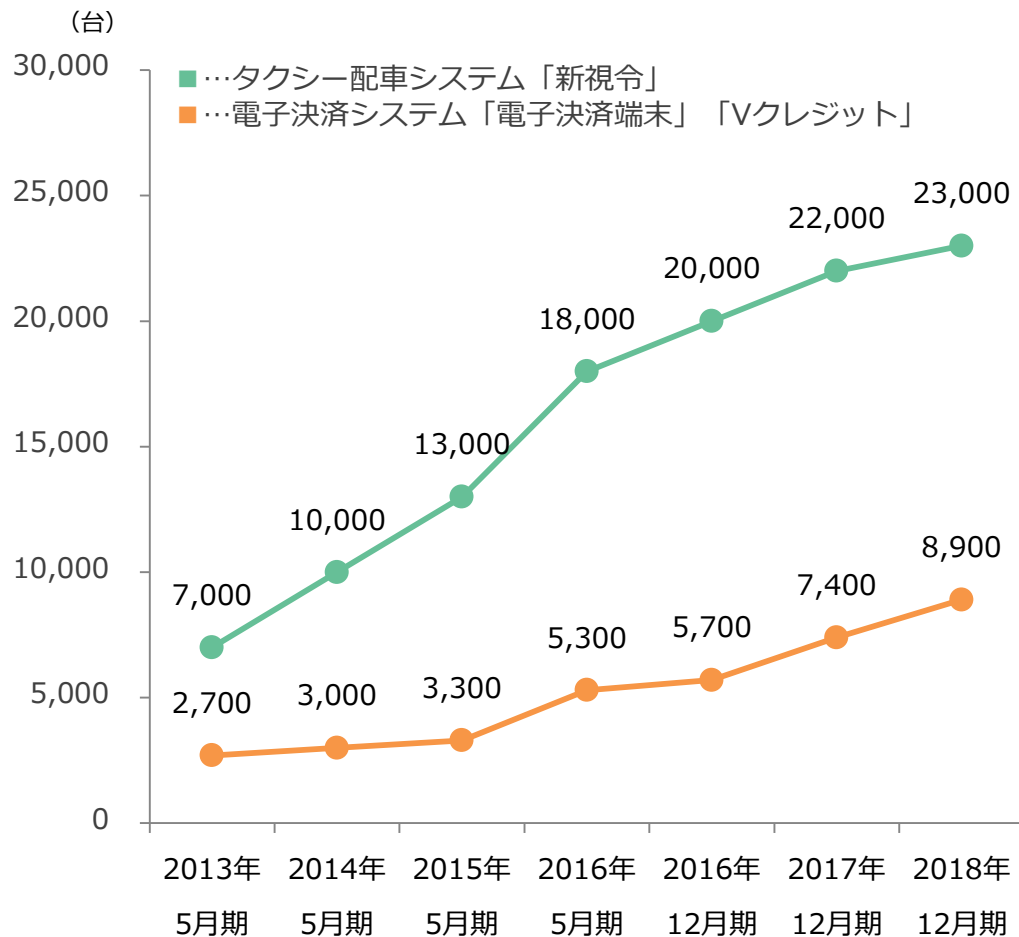
那覇バスターミナル導入済み



大分バスターミナル導入中

タクシー関連事業の取組み

- 他社アプリ連携と電話のソリューションを強化
- 車載器はレンタルプランによりストックビジネスを拡大



広島（血液検体の搬送）

- 2018年12月18日「無人航空機を利用した医療過疎地域における緊急血液検体の研究開発」に係る実証実験を実施



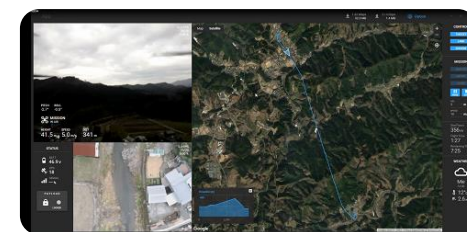
林業用大型ドローン

- 山への荷物運搬作業は人力では負担が大きく、運搬回数に限界があるため林業用の大型ドローンを開発中
- ドローン搬送により作業負担を軽減し、林業作業の効率化を図る



大分（ドローン宅配）

- 2018年3月9日大分県佐伯市宇目にてドローン宅配の実用化に向けた実証実験を実施
- 2019年2月7日より約一か月間にわたって補助者なしの目視外飛行による荷物配送を実施中



農薬散布用ドローン

- 農薬散布ドローン「E410」を開発・販売開始
- 雨や薬剤などによる腐食を防止するためにIP規格適合品のパーツを採用し、液体の農薬、肥料および除草剤などの散布を行うために設計されたドローン



自律走行型搬送ロボットの販売を開始

- 市場規模が大きな産業用ロボットでは、自動搬送ロボット A I V (Autonomous Intelligent Vehicle) を中心に販売開始
- 自らマップを作り、障害物を検知し、ぶつからない進路を選んで目的地まで搬送
- ciRoboticsの事業にモノづくりに強みを持つ石井工作研究所とソフトウェアに強みを持つモバイルクリエイイトが協力して実現
- 工場向け搬送用ロボットを初受注。大手食品会社へ2019年3月に導入予定

作業負担軽減・24時間安定稼働
省人化・省スペース化
製造現場で活躍



装置搬入出高さに合わせて上下(高さ調節が可能)

外気を遮断し、温度・湿度を管理(デシケータ搭載)



転倒による破損や飛散を防止
移動時の環境を一定に保つ
クリーンルーム対応

3年後(2021年12月期) 売上高目標 **10** 億円

石井工作研究所との連携により事業領域を拡大



- 【IoT事業】 IKKSS（センシングシステム）開発（大手で採用）
- 【通信系・交通系機器関連】 デジタルサイネージの筐体を制作
- 【ドローン・ロボット関連】 ロボット事業を開始（工場・倉庫IoTソリューション）

【既存事業】

自動車部品組立装置



超小型半導体製造システム
ミニマルファブ



<既存事業>
自動車関連
製造装置

<新規事業>
通信系・交通
系機器関連



デジタルサイネージ筐体制作

<新規事業>
IoT関連

【IoT事業】
工場IoTを推進



工場や施設のデータを見える化

<既存事業>
半導体関連
製造装置

<既存事業>
精密金型
各種部品加工

<新規事業>
ドローン
ロボット
関連

【ドローン事業】
ciRoboticsとの連携



大型ドローン開発

【ロボット事業】
2018年開始



自律走行型搬送ロボット開発



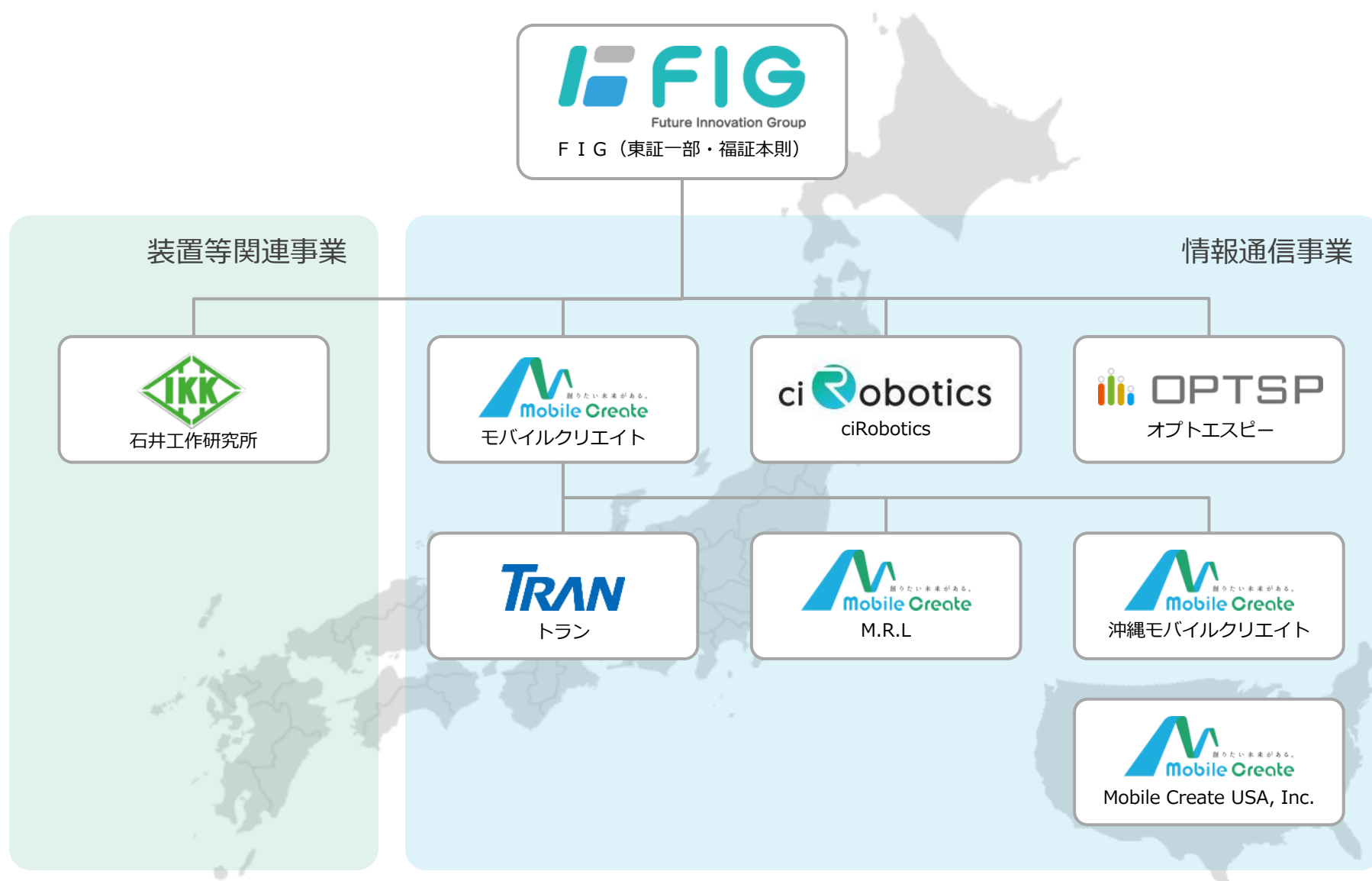
參考資料



会社概要

商号	F I G株式会社 英文社名：Future Innovation Group, Inc.	 Future Innovation Group
設立	2018年7月2日	
代表者	代表取締役社長 村井 雄司	
資本金	20億円	
所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号	
上場市場	東京証券取引所市場第一部・福岡証券取引所本則市場	
証券コード	4392	
発行済株式総数	31,084,515株（2018年12月末現在）	
従業員数	473名(2018年12月末現在連結)	
事業内容	子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する業務	

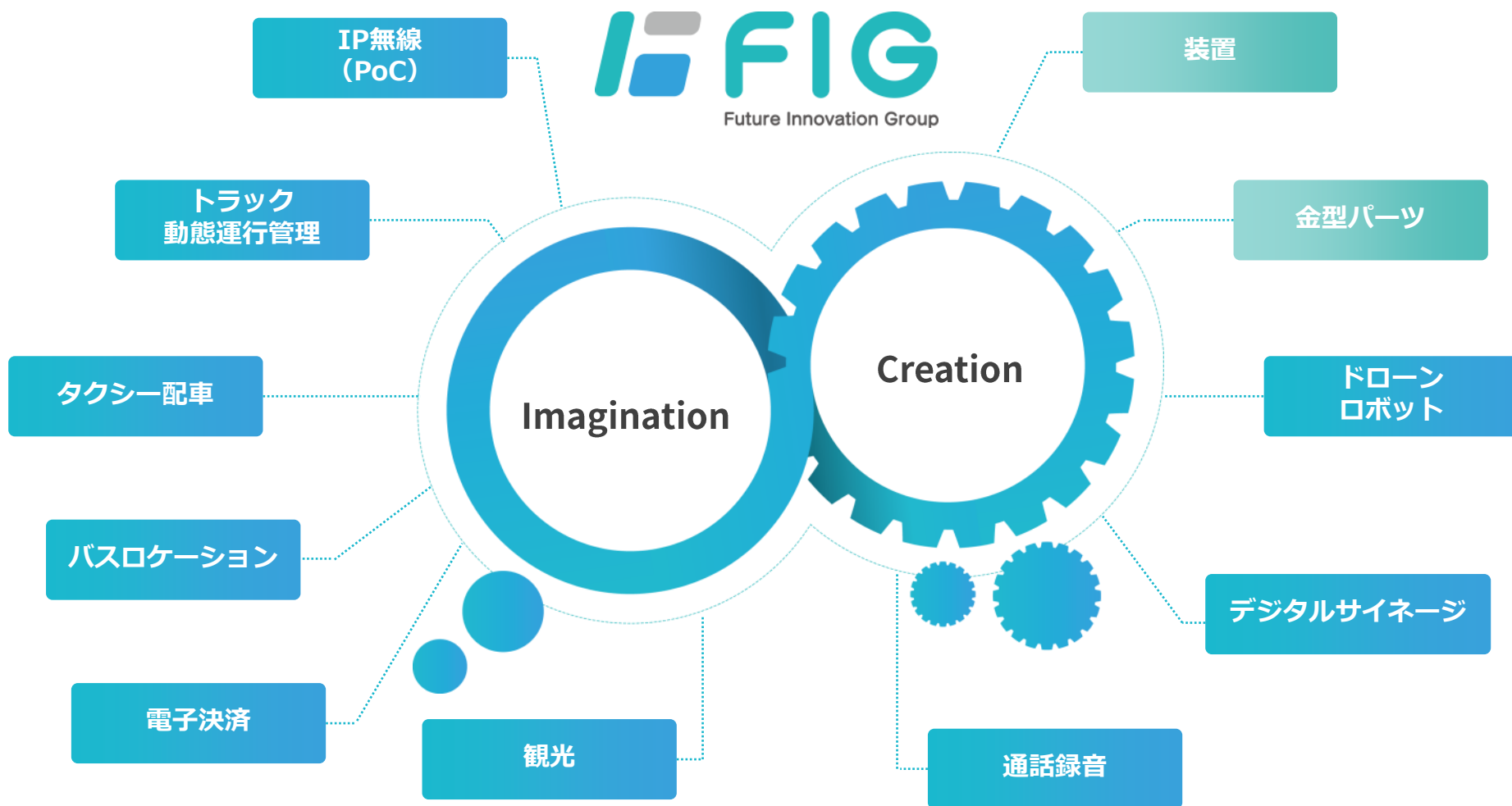
グループ相関図



情報通信事業

装置等関連事業

想像と技術と情熱で快適な未来を創造



中核会社（モバイルクリエイトの事業内容）

5つのコア技術



サービス（主力）



ボイスポケット トランシーバー

NTTドコモの携帯通信網を利用したIP無線機（許認可・基地局・免許不要）



モバロケ

移動体をリアルタイムで管理する動態管理システム（物流メイン）



Vクレジット FeliCa

オンライン決済を可能にした電子決済システム（各種電子マネー・クレジット）



新視令

無線・料金メータ・ナビを連動、顧客情報を瞬時に表示、配車時間を短縮するタクシー配車システム



モバステーション

バス運行ダイヤと連動・経路乗継検索・接近情報等、バスを見える化したバスロケーションシステム



デジタルサイネージ

ディスプレイなどの電子的な表示器を使って情報を発信。バス車内やターミナル構内等に設置。

市場

メイン市場（交通・運輸系）

物流	タクシー	バス
----	------	----

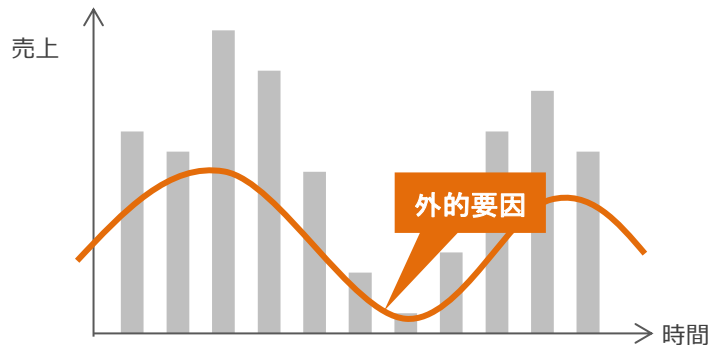
新市場開拓（非車載）

防災	B C P
産業廃棄物・生コン	建設
医療・介護・福祉	警備、他

中核会社（モバイルクリエイティブのフロー＆ストックの成長モデル）

フロー

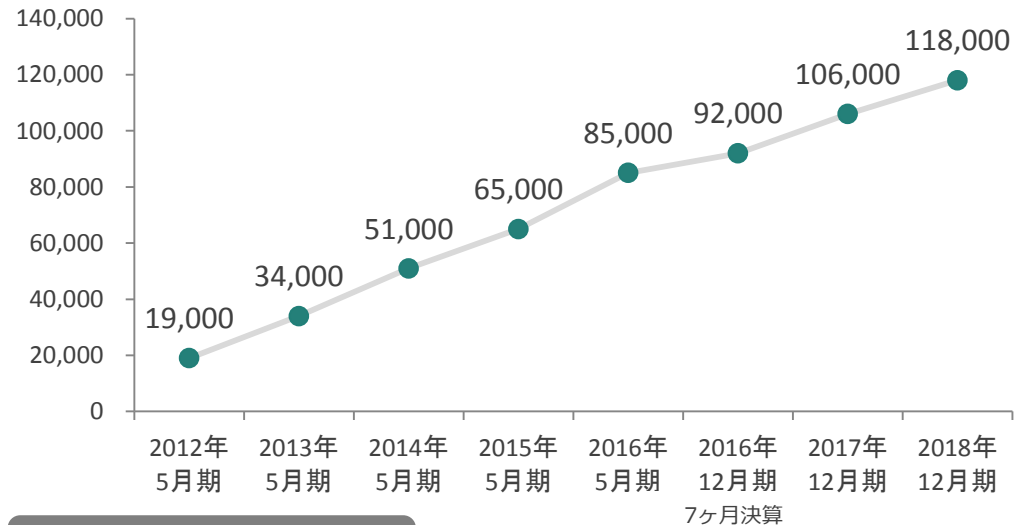
- 販売時における収入（システムの開発・販売）
- 外的要因に左右されやすい



累積契約台数

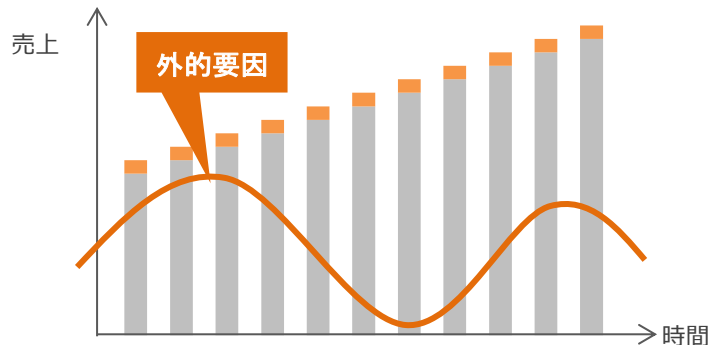
目標 **20 万台**

(台)



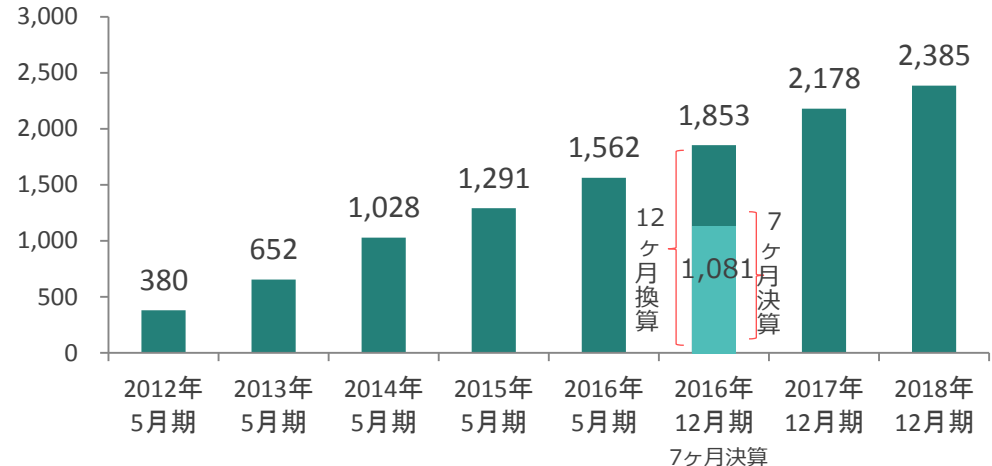
ストック

- 継続的なサービスの提供による収入（月額利用料・保守料）
- 安定した収益が得られる



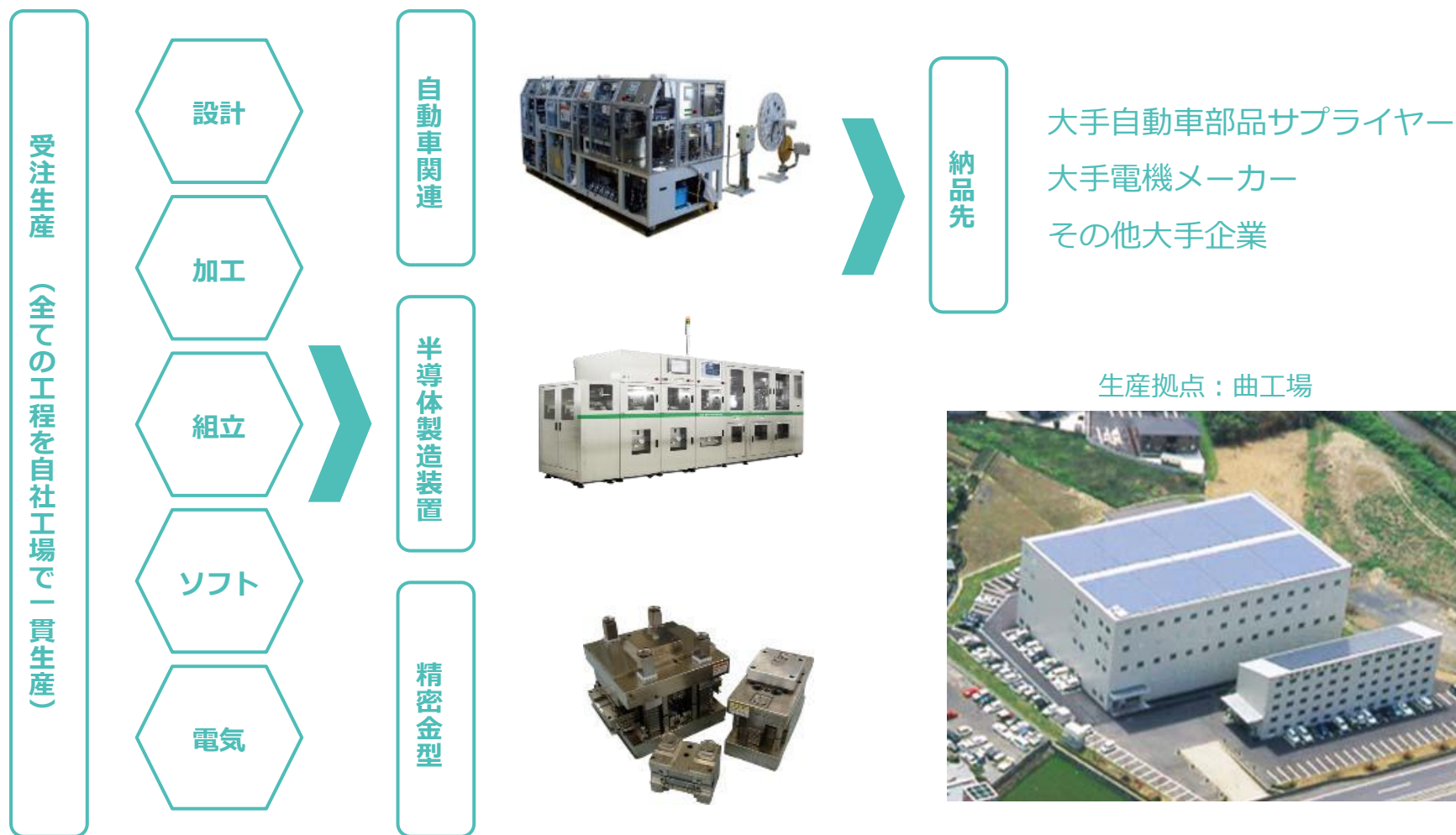
ストック売上高の推移

(百万円)



中核会社（石井工作研究所の事業内容）

- 部品から自社で制作し、多岐にわたる精密加工技術を有す
- 高い「ものづくり」の技術と大手企業を中心とした優良な顧客基盤





【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室
【 住 所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097－576－8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

※「FeliCa」はソニー(株)、「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc. USA、「Wi-Fi」はWi-Fi Alliance、「OKICA」は沖縄ICカード(株)、「WAON」はイオン(株)の登録商標です。